

2025 年度事業方針
公益社団法人 さぬき青年会議所
第 28 代理事長 伊藤 智也

「スローガン」

ワクワク
“ 好奇心 ”

「基本理念」

未来を創る先導者たれ

「基本方針」

1. 会員拡大及び会員研修
2. 持続可能なまちづくり
3. 情報発信と認知度向上
4. 公益法人制度改正への対応

「所信」

◆はじめに

「僕らが変わればまちが変わり、まちが変われば世界が変わる」と言われるように、個人の価値観や行動とまちづくりや社会規範は互いに影響しています。変化を起こすエネルギーは、問題意識と情熱から生まれ、住民の共感を得ることで広がり、社会を変える具体的なアクションとなります。しかし、私たちは地域のことをどれだけ知っているでしょうか。住み暮らす人々の思いをどれだけ理解しているでしょうか。コロナ禍による社会の分断や急速な情報化社会の中で、知らず知らずのうちに無関心な事柄が増え、自分の殻に閉じこもっていないでしょうか。

いまこそ、地域に出るのです。興味の幅を広げ、偶然の出会いを楽しみ、様々なステークホルダーとともに希望を描くのです。世界はワクワクに溢れています。「好奇心」はあなたを、そして地域を巻き込み、変える原動力です。今こそ、地域の未来を創る先導者となり、魅力的な運動を展開していきましょう。

◆会員拡大及び会員研修

近年、会員数の減少が課題となっています。私たちは個人の力でなく、組織全体で会員拡大を進めていきます。未来の（公社）さぬき青年会議所を支える新たな仲間が必要です。同時に、将来の理事や役員となるための研修も並行して進めていきます。（公社）さぬき青年会議所の運営を担うためのスキルとマインドを仲間とともに習得し、個々の成長を通じてJC活動の楽しさを見出していきます。

◆持続可能なまちづくり

「丸亀お城まつり」「丸亀お城村」の伝統を未来につなげていくことは、（公社）さぬき青年会議所の大切な役割です。第50回を迎える丸亀お城村を引き続き支えていきます。また、大規模なお祭りの企画運営を通じて、“持続可能なまちづくり”を担う人財に必要なスキルとマインドを磨きます。

そして、将来のまちづくりを担う青少年の育成にも取り組みます。特に近年は体験格差が課題となっており、社会環境の変化が子供たちのチャレンジする機会を奪っています。子供たちが希望を抱ける社会を目指し、人づくりとまちづくりを両輪で進めていきます。

◆ブランディングと情報発信

どれだけ有益な活動をしていても、認知されなければ存在しないのと同じです。（公社）さぬき青年会議所の認知度を高めるため、オンラインとリアルの両面で広報活動を行います。ホームページやSNSを活用するために、情報発信のフォーマットとルールを整備し、戦略的な情報発信と評価・検証が可能な体制を構築します。また、青年会議所の最大の発信力は人的ネットワークです。シニアクラブや各地青年会議所とのつながりを活用し、顔の見える関係性を強化していきます。

◆公益法人制度改正への対応

私たちは2011年に公益法人格を取得し、15年が経過しました。現在のメンバーは、公益法人としての（公社）さぬき青年会議所しか知りません。一方、コロナ禍を経て、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しました。公益法人に期待される役割も変わりつつあり、公益法人制度の改正にも対応する必要性が生じています。今一度、公益法人制度への理解を深め、公益法人として活動続ける意義を確認するための勉強会を立ち上げます。（公社）さぬき青年会議所が今後どうあるべきか、どうありたいか、そして来る2027年の創立30周年に向けて、メンバー全員で考えていきます。

◆結びに

（公社）さぬき青年会議所の歴史は、地域とともに歩んできた道です。これからも、青年らしく前向きにチャレンジし、自己変革し、様々なステークホルダーとともに地域を共創す

る団体であり続けます。

リーダーシップの開発と成長の機会が提供される青年会議所だからこそ、組織運営とまちづくりが担えるスキルとマインドを身につけていきましょう。そして、青年会議所に入ってよかったと思える仲間を増やしましょう。人のために、まちのために、前向きに尽くせる仲間が増えることで、私たちの活動はさらに大きな力となり、多くの人びとの共感へとつながります。

^{ワクワク}好奇心しましょう。未来を創る先導者たれ。